



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 日立造船株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7004 URL https://www.hitachizosen.co.jp/  
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 谷所 敬  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岩下哲郎 TEL 06-6569-0022  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（報道関係者・証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	168,260	9.8	△6,333	—	△6,866	—	△10,625	—
2019年3月期第2四半期	153,243	△5.6	△8,496	—	△8,647	—	△7,682	—

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 △11,712百万円（-％） 2019年3月期第2四半期 △7,326百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△63.04	—
2019年3月期第2四半期	△45.58	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	383,583	106,618	27.6
2019年3月期	429,040	120,410	27.8

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 105,713百万円 2019年3月期 119,479百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	395,000	4.5	12,000	63.1	8,000	19.0	1,000	△81.6	5.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	170,214,843株	2019年3月期	170,214,843株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,672,050株	2019年3月期	1,670,326株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	168,543,546株	2019年3月期2Q	168,547,722株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会資料の入手方法）

当社は、2019年11月1日に報道関係者・証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定であり、この説明会での配布資料については、本決算短信の開示と同時に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
3. 補足情報	
(1) 2020年3月期第2四半期 連結業績補足資料	8
(2) 2020年3月期 連結業績見通し補足資料	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経済情勢は、海外では、中国及び欧州において一部弱さは見られるものの、米国景気の着実な回復により、全体としては緩やかに回復しました。国内でも、雇用情勢の着実な改善や設備投資の増加等が見られ、景気は緩やかに回復しました。一方、先行きについては、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、金融資本市場の変動の影響等による景気下振れリスクに留意する必要があります。

こうした中で、当社グループでは、2017年度からスタートした中期経営計画「Change & Growth」のもと、事業基盤の再構築と生産性向上、グループ総合力の発揮及びポートフォリオ・マネジメントの推進を基本戦略として、各種重点施策を鋭意推進してまいりました。

以上のような取組みを進める中で、当期の受注高は、機械部門及びインフラ部門の増加により、前年同四半期を上回る200,248百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間の売上高については、環境・プラント部門の増加等により、前年同四半期を上回る168,260百万円となりました。

損益面では、営業損益は、機械部門及びインフラ部門の赤字拡大があったものの、環境・プラント部門の赤字が大幅に縮小したことにより、前年同四半期から改善し6,333百万円の営業損失にとどまりました。また、経常損益も前年同四半期より改善し6,866百万円の損失計上となりました。一方、特別損失の計上により、親会社株主に帰属する四半期純損益については、前年同四半期から赤字が拡大し、10,625百万円の損失計上となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

#### ①環境・プラント

国内ごみ焼却施設の大工事の進捗により、売上高は前年同四半期を上回る106,462百万円となりました。また、海外子会社の赤字縮小及び国内大工事のコスト削減等により、営業損失も前年同四半期から大幅に減少し、516百万円となりました。

#### ②機械

プロセス機器及び精密機械の減少等に伴い、売上高は前年同四半期を下回る42,964百万円となりました。また、プロセス機器の収益悪化等により、営業損失も前年同四半期から悪化し、3,227百万円となりました。

#### ③インフラ

大工事の増加により、売上高は前年同四半期を上回る13,280百万円となったものの、営業損失は個別工事の採算悪化及び新製品における補償工事費の発生等により、前年同四半期から悪化し、3,046百万円となりました。

#### ④その他

売上高は前年同四半期を上回る5,552百万円、営業利益も前年同四半期を上回る474百万円となりました。

当社グループの事業の性質上、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きく、売上高が連結会計年度末に集中することから、業績は季節的変動が大きくなる傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べて45,457百万円減少し、383,583百万円となりました。負債の部は、有利子負債の返済等により、前連結会計年度末に比べて31,666百万円減少し、276,964百万円となりました。純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末に比べて13,792百万円減少し、106,618百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、環境・プラント部門において売上高の増加が見込まれることにより、前回(2019年10月4日)公表の380,000百万円から15,000百万円増加の395,000百万円となる見通しです。

一方、損益面では、営業利益は、環境・プラント部門の売上増及びコストダウンに伴う増加を見込むものの、機械部門及びインフラ部門のコストアップ等に伴う悪化が見込まれることから、前回公表の予想数値である12,000百万円から変更ありません。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても、前回公表の予想数値である8,000百万円及び1,000百万円からいずれも変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,578	26,923
受取手形及び売掛金	172,704	125,288
商品及び製品	1,582	1,304
仕掛品	23,422	26,395
原材料及び貯蔵品	5,802	5,692
その他	17,874	18,061
貸倒引当金	△3,771	△3,028
流動資産合計	253,193	200,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,456	35,970
土地	56,934	57,950
その他(純額)	26,998	29,136
有形固定資産合計	118,389	123,058
無形固定資産		
のれん	2,994	2,549
その他	8,553	8,188
無形固定資産合計	11,547	10,737
投資その他の資産		
その他	46,464	49,657
貸倒引当金	△666	△608
投資その他の資産合計	45,797	49,048
固定資産合計	175,734	182,844
繰延資産	113	100
資産合計	429,040	383,583

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,103	37,430
電子記録債務	21,386	19,204
短期借入金	52,429	31,110
リース債務	390	782
未払費用	45,508	40,338
未払法人税等	4,109	1,407
前受金	21,481	31,566
保証工事引当金	3,156	5,055
工事損失引当金	3,218	3,079
その他	13,854	11,363
流動負債合計	212,637	181,339
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	47,449	44,570
リース債務	1,075	3,216
退職給付に係る負債	19,296	19,942
役員退職慰労引当金	358	328
資産除去債務	1,103	1,107
その他	1,709	1,459
固定負債合計	95,992	95,625
負債合計	308,630	276,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,442	45,442
資本剰余金	8,527	8,527
利益剰余金	64,856	52,197
自己株式	△1,018	△1,019
株主資本合計	117,807	105,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280	109
繰延ヘッジ損益	△146	△67
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	1,335	603
退職給付に係る調整累計額	209	△71
その他の包括利益累計額合計	1,671	565
非支配株主持分	931	905
純資産合計	120,410	106,618
負債純資産合計	429,040	383,583

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	153,243	168,260
売上原価	135,376	147,612
売上総利益	17,867	20,647
販売費及び一般管理費	26,363	26,981
営業損失(△)	△8,496	△6,333
営業外収益		
受取利息	35	44
受取配当金	100	123
持分法による投資利益	269	337
その他	1,363	645
営業外収益合計	1,770	1,150
営業外費用		
支払利息	397	419
その他	1,524	1,263
営業外費用合計	1,921	1,683
経常損失(△)	△8,647	△6,866
特別損失		
海外事業関連損失	—	7,197
特別損失合計	—	7,197
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,647	△14,063
法人税等	△902	△3,458
四半期純損失(△)	△7,745	△10,605
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△62	19
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,682	△10,625

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△7,745	△10,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△176	△139
繰延ヘッジ損益	120	143
為替換算調整勘定	△380	△647
退職給付に係る調整額	987	△285
持分法適用会社に対する持分相当額	△132	△177
その他の包括利益合計	418	△1,107
四半期包括利益	△7,326	△11,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,246	△11,731
非支配株主に係る四半期包括利益	△79	18



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間の期首より、一部の在外連結子会社において、IFRS第16号「リース」(以下、IFRS第16号)を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

過去にIAS第17号を適用してオペレーティング・リースに分類した借手としてのリースについては、適用開始日に、使用権資産及びリース負債を認識しております。

## 3. 補足情報

## (1)2020年3月期 第2四半期 連結業績補足資料

## ①連結受注高・受注残高

(単位:億円)

事業セグメント	2018年度 第2四半期累計	2019年度 第2四半期累計	比 較	2019年9月末 受注残高
環 境 ・ プ ラ ン ト	1,234	1,154	△ 80	5,789
機 械	425	556	131	980
イ ン フ ラ	136	237	101	489
そ の 他	60	55	△ 5	8
合 計	1,855	2,002	147	7,266

## ②連結損益計算書

(単位:億円)

		2018年度 第2四半期累計		2019年度 第2四半期累計		比 較	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高・ 営業利益	環 境 ・ プ ラ ン ト	879	△ 81	1,064	△ 5	185	76
	機 械	472	△ 5	430	△ 32	△ 42	△ 27
	イ ン フ ラ	127	△ 1	133	△ 30	6	△ 29
	そ の 他	54	3	55	4	1	1
	合 計	1,532	△ 84	1,682	△ 63	150	21
営業外 損益	金 利 負 担 額		△ 2		△ 2		0
	持分法投資損益		2		3		1
	そ の 他		△ 2		△ 6		△ 4
	計		△ 2		△ 5		△ 3
経 常 利 益			△ 86		△ 68		18
特 別 損 益			—		△ 72		△ 72
税金費用・ 非支配株主帰属利益			10		34		24
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益			△ 76		△ 106		△ 30

※営業利益の「その他」にはセグメント間取引消去に関わるものを含んでおります。

## ③連結貸借対照表

(単位:億円)

科 目	2019年3月末	2019年9月末	比 較
現 金 及 び 預 金	356	269	△ 87
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	1,727	1,253	△ 474
棚 卸 資 産	308	334	26
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	1,299	1,338	39
そ の 他	600	641	41
資 産 の 部 合 計	4,290	3,835	△ 455
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	685	566	△ 119
有 利 子 負 債	1,263	1,047	△ 216
そ の 他	1,138	1,156	18
負 債 の 部 合 計	3,086	2,769	△ 317
株 主 資 本	1,178	1,051	△ 127
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	17	6	△ 11
非 支 配 株 主 持 分	9	9	0
純 資 産 の 部 合 計	1,204	1,066	△ 138
負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	4,290	3,835	△ 455

## ④連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科 目	2018年度 第2四半期累計	2019年度 第2四半期累計	比 較
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 0	254	254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 41	△ 75	△ 34
財務活動によるキャッシュ・フロー	4	△ 259	△ 263
為 替 換 算 差 額	△ 4	△ 5	△ 1
現金及び現金同等物の増加減少額	△ 41	△ 85	△ 44
現金及び現金同等物の期首残高	327	343	16
そ の 他 増 加 減 少 額	—	△ 1	△ 1
現金及び現金同等物の期末残高	286	257	△ 29

## (2)2020年3月期 連結業績見通し補足資料

## ①連結受注高

(単位:億円)

事業セグメント	2018年度実績 (参考)	2019年度見通し (2019.10.4公表)	2019年度見通し (2019.10.31公表)	2019年度見通し 比較
環境・プラント	3,147	2,400	2,400	0
機 械	1,007	1,100	1,100	0
イ ン フ ラ	276	400	400	0
そ の 他	120	100	100	0
合 計	4,550	4,000	4,000	0

## ②連結損益計算書

(単位:億円)

		2018年度実績 (参考)		2019年度見通し (2019.10.4公表)		2019年度見通し (2019.10.31公表)		2019年度見通し 比較	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高・ 営業利益	環境・プラント	2,283	56	2,400	100	2,550	130	150	30
	機 械	1,066	△ 3	1,000	10	1,000	0	0	△ 10
	イ ン フ ラ	318	13	300	5	300	△ 15	0	△ 20
	そ の 他	114	7	100	5	100	5	0	0
	合 計	3,781	73	3,800	120	3,950	120	150	0
経 常 利 益		67		80		80		0	
親会社株主に帰属する 当期純利益		54		10		10		0	

※営業利益の「その他」にはセグメント間取引消去に関わるものを含んでおります。